

被害者が語る！ メール攻撃の実態とその対策

昨年末よりEmotetと呼ばれるマルウェアが猛威を奮っており、新型コロナウイルスに便乗した攻撃も観測されています。また東京五輪により日本を標的としたサイバー攻撃が懸念されており、サプライチェーン攻撃の脅威が増加している現状、中小企業も無関係ではありません。

本研修会では実際にメール攻撃の被害に遭い、その対策に尽力された当事者から、メール攻撃の実態とその対策について生々しく語っていただきます。

日時

2020年3月11日(水) 15:00～17:30

会場

とやま自遊館 3F 有峰 (富山市湊入船町9番1号)

定員

20名(先着順)

受講料

無料

プログラム

- 講演「メール攻撃の実態とその対策」
富山大学総合情報基盤センター 情報セキュリティ研究開発部門
准教授 沖野 浩二氏
- 質疑応答、情報交換会 (※自己紹介あり、名刺をご持参ください)

対象者

情報システム担当者、及びそれに類する担当者

懇親会

会場 レストラン シャトー (とやま自遊館 1F)

時間 17:45～(2時間程度)

会費 5,000円

主催

NPO法人ITコーディネータ富山

後援

株式会社富山県総合情報センター

一般社団法人富山県経営者協会

申込方法

ITコーディネータ富山Webサイトより

<https://itc-toyama.org/?p=2463>



◆情シス担当者向け研修会とは◆

昨今、情報システム部門に対する要求は質・量ともに増大しており、担当者の負担は増える一方です。さらに技術の進化も早く、最新技術に追従するだけでも大変です。

このような状況においては効率良く役立つ情報を得ることが重要であり、他社の担当者との情報交換はその大きな助けとなります。しかしながら他社の担当者との交流がなければそれは実現できません。

そこで会社の垣根を超えた情報システム担当者同士の交流を図るべく、情報システム担当者向けの研修会と懇親会を企画しました。皆様、ぜひご参加ください。